

事業別説明会

-航空事業-

2025年8月(資料更新のみ)
三菱HCキャピタル株式会社



- 本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態、その他経営全般に関する予想、見通し、計画、目標等の将来に関する記述が含まれています。
- これらの記述は、本資料作成時点で入手可能な情報から得られた当社の仮定や判断に基づくものであり、その性質上、一定のリスクや不確実性等が内在しており、将来に実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。このような事態の原因となりえる不確実性やリスクの要因は多数あります。
- 当社は、本資料に記載された情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有しておらず、今後、予告なく変更されることがあります。
- 本資料は、日本国内外を問わず、投資誘導を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は利用者ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。
- 本資料をご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料における表記の定義

- MHC : 三菱HCキャピタル
- JSA : Jackson Square Aviation(航空機リース会社)
- elfc : Engine Lease Finance(航空機エンジンリース会社)
- inav : 航空機エンジンパーツアウト会社
- ABD : Aviation Business Division(航空事業部)
- MHCAS : MHCアビエーション・サービス

01 航空事業本部の紹介

02 事業概要

03 事業戦略

01 航空事業本部の紹介

02 事業概要

03 事業戦略

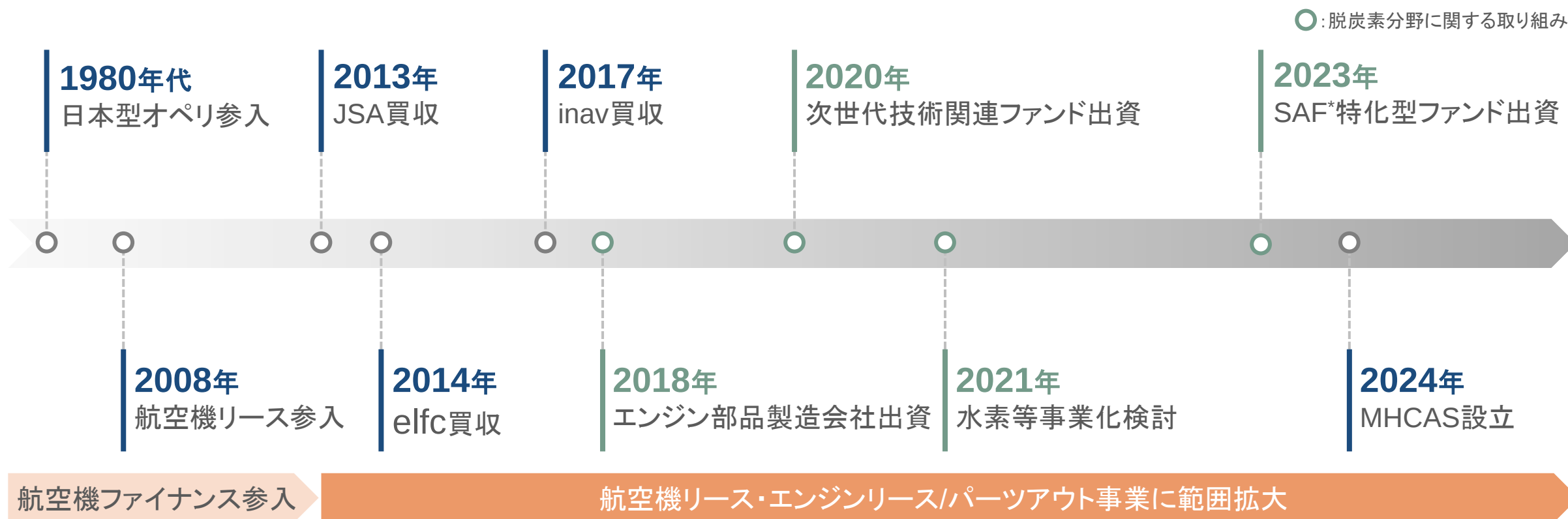


グローバルな一体運営で航空リース業界をカバー

* 日本型オペレーティングリース

概略

- 1980年代 航空機ファイナンス参入、以降40年以上にわたりサービス提供・事業ノウハウを蓄積
- 2013年～ 航空機リース・エンジンリース/パーツアウト事業に範囲を拡大
- 2018年～ 脱炭素分野等へ複数のマイノリティ出資を実行



* Sustainable Aviation Fuel(循環型原料で製造される持続可能航空燃料)

航空業界は経済成長率を上回る成長市場

相関性



GDP・旅客需要・機体需要の
相関性が高い

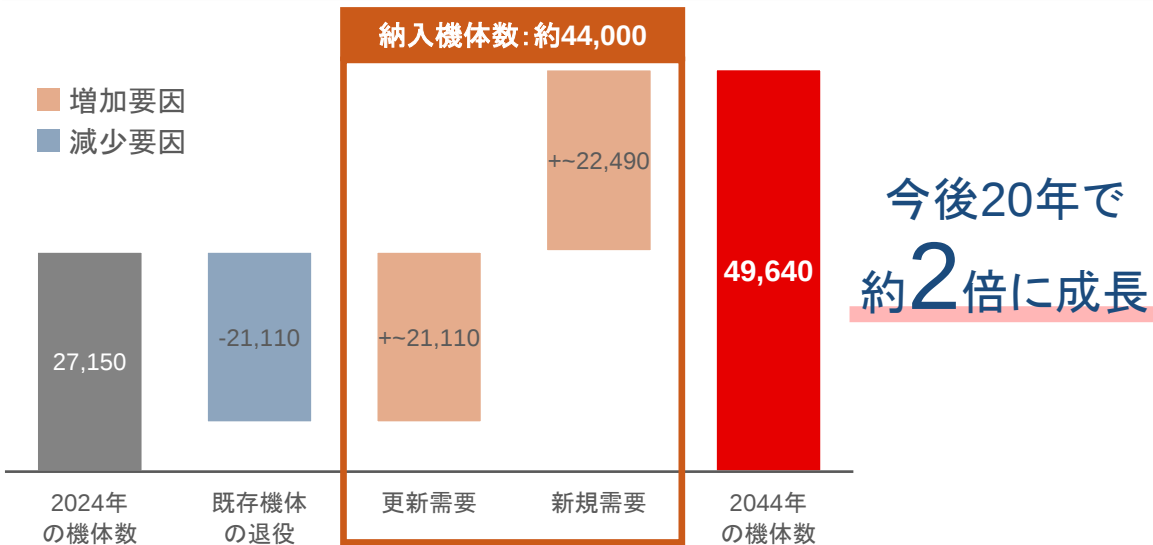
旅客需要



GDP・人口成長に合わせ、
2025~44年平均成長率は3%超*1・
旅客機数は2%超*1増加の予測

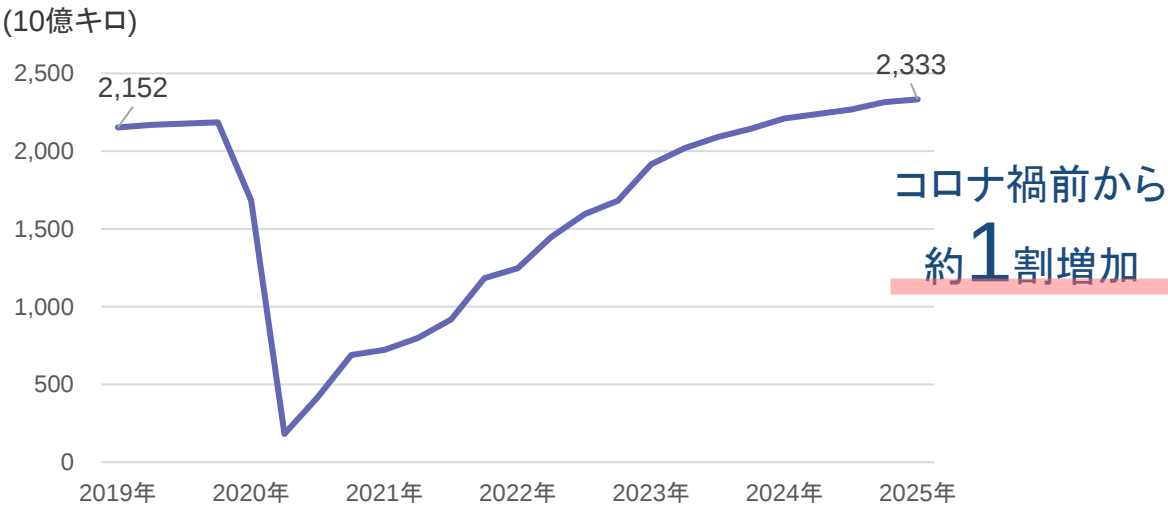
*1 (出所) Boeing、Airbus、日本航空機開発協会(JADC)

【参考】世界の民間航空機需要の予想(機体数)



(出所) ボーイング社「Commercial Market Outlook 2025-2044」

【参考】航空業界における旅客需要の状況(RPK*2)

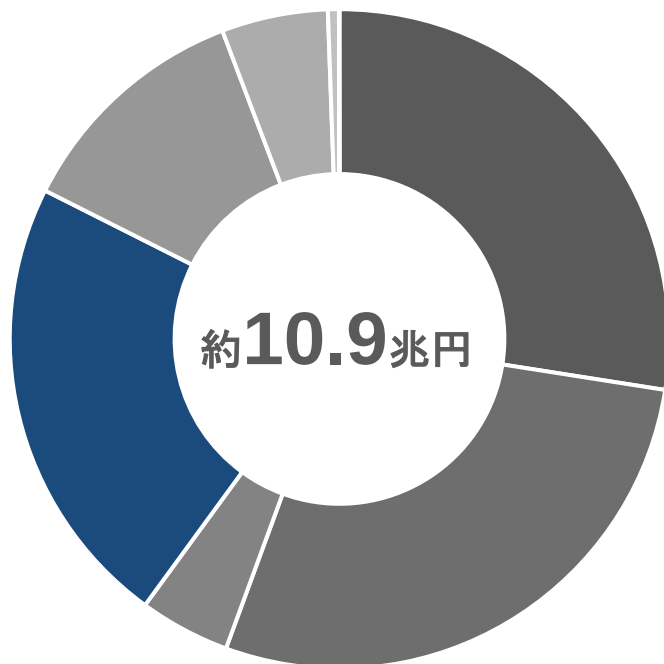


(出所) 国際航空運送協会(IATA)「Quarterly Air Transport Chartbook 2025 Q1」

*2 Revenue Passenger Kilometers
(有償旅客が搭乗し飛行した距離。有償旅客数×輸送距離で算出)

資産・利益ともにグループ全体の約2～3割を占める重要セグメント

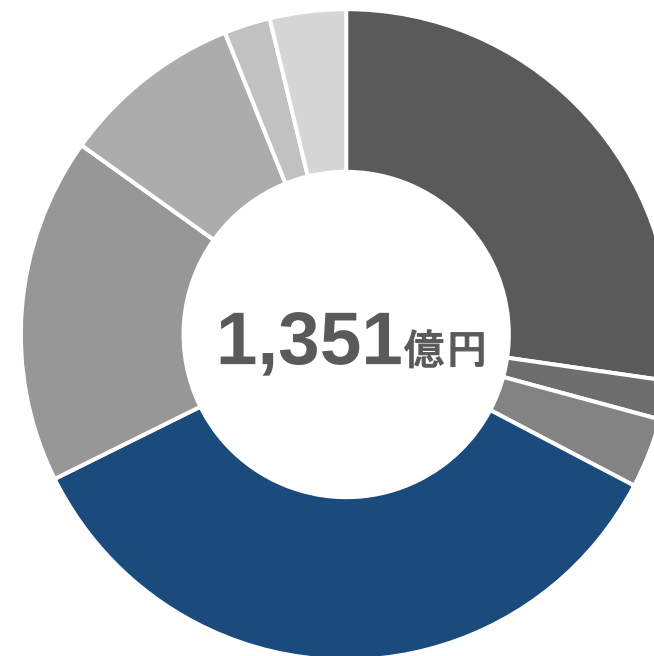
セグメント資産残高(2025/3期末)



2.4兆円 / **22%**

約10.9兆円(連結合計)

純利益(2025/3期)

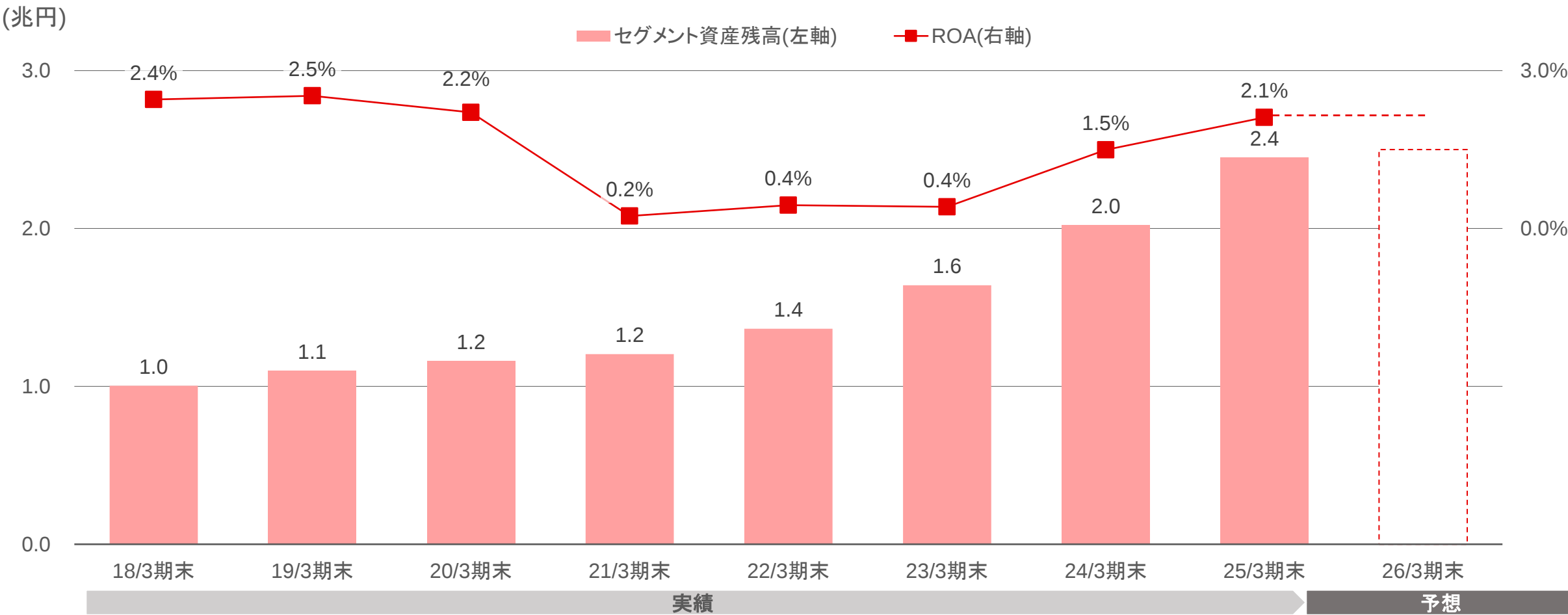


472*億円 / **35%**

1,351億円(連結合計)

* 25/3期に実施したJSAの決算期変更による60億円の増益効果を含む

2025年3月期のセグメント利益は過去最高益の472億円、ROAは2.1%に伸長
コロナ禍や地政学リスクの顕在化時含め、投資継続、連続黒字確保



01 航空事業本部の紹介

02 事業概要

03 事業戦略

各事業の特長①

航空機リース (JSA) 	事業	✓ 航空機リース(SLB ^{*1} 、メーカー直接発注)、トレーディング、ローン等
	ビジネス モデル	✓ 新造・新型機ナローボディ^{*2}中心のSLB^{*1}(在庫リスク軽減)、 Airbus/Boeing向け直接発注(安定仕入/取引先拡大)、 リース期間10~12年 ✓ 期中売却・資産回転型ビジネス(ROA向上)、 若い平均機齢(5年) ✓ 長期安定リース料収入(残存平均7年)、機体の売却益
	特長	✓ ポートフォリオ流動性、脱炭素化・新型機の保有比率76.1%(簿価ベース) ✓ 商品多様性、資金調達力、トレーディング力、与信管理能力 ✓ 世界12位/市場価値ベース
日本型オペリ (ABD/MHCAS) 	事業	✓ 機体・エンジン等の日本型オペリ組成/販売/売買媒介
	特長	✓ JSA/elfc連携、優良エアラインとの総合的取引 ✓ 三菱グループのネットワーク活用、 1,300社以上の投資家顧客基盤

*1 Sales and Lease Back(セールス&リースバック取引:顧客である航空会社から機体を購入し、それらを顧客にリースで貸し戻すという機体調達方式)

*2 主に国内線や近距離線で使用する単通路機

各事業の特長②

エンジンリース/ パーツアウト (elfc, inav) 	事業	elfc	✓ 航空機エンジンリース(SLB、メーカー直接発注、在庫)、トレーディング等
		inav	✓ 中古エンジン部品の仕入販売
	ビジネス モデル	elfc	✓ 新造SLB(8年~12年)、在庫エンジンリース ✓ エンジン整備・部品交換⇒資産価値維持、退役時にinavへ売却 ✓ 長期/中短期リース料、エンジン売却代金、 メンテナンス収入
		elfc	✓ 独立系で首位の市場シェア(世界4位/簿価ベース) ✓ 新型基の保有比率74.3%(簿価ベース) ✓ 新造~退役ライフサイクルを通してサービス提供 ✓ 社員の25%が技術チーム 、ポートフォリオ分散、資金調達力、与信管理能力
	特長	inav	✓ elfc含む安定仕入、目利力、資金調達力 ✓ 大型倉庫、修理管理能力、販売先多数

JSAは機体数9.2%、elfcはエンジン数6.1%で成長



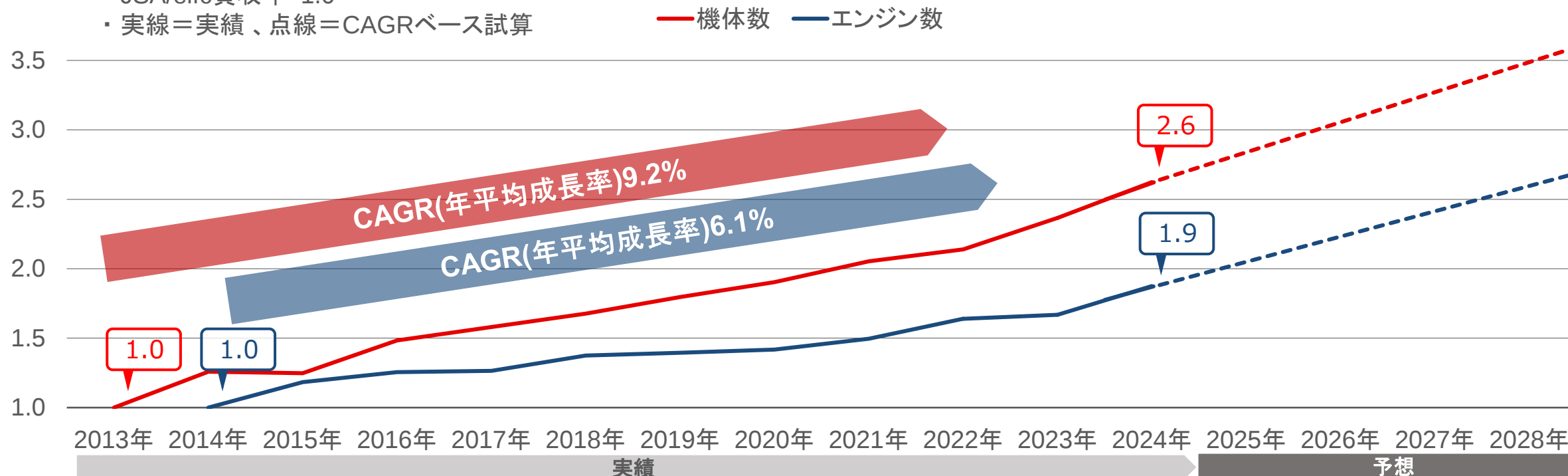
流動性が高い新型ナローボディ機中心に
投資継続、連続黒字。**継続成長**



独立系で首位の業界リーダー・連続黒字。
収益性維持・安定拡大

航空機・エンジンの保有機体(基)数の推移

- ・ JSA/elfc買収年=1.0
- ・ 実線=実績、点線=CAGRベース試算



01 航空事業本部の紹介

02 事業概要

03 事業戦略

対応策

目的

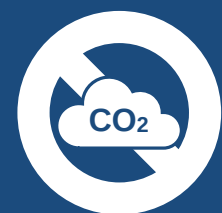
グループ 総合力強化



- ✓ アセットライフサイクルに沿った多様なサービスをグループ一体で提供(サービス多様化・機能間連携の推進)
- ✓ 資金調達力強化、DX・データ活用推進、人材高度化・組織力底上げ

- ✓ 競争力、総合提案・実行力の強化による事業成長と安定性の両立
- ✓ 良質ポートフォリオ拡大・成長、収益力強化

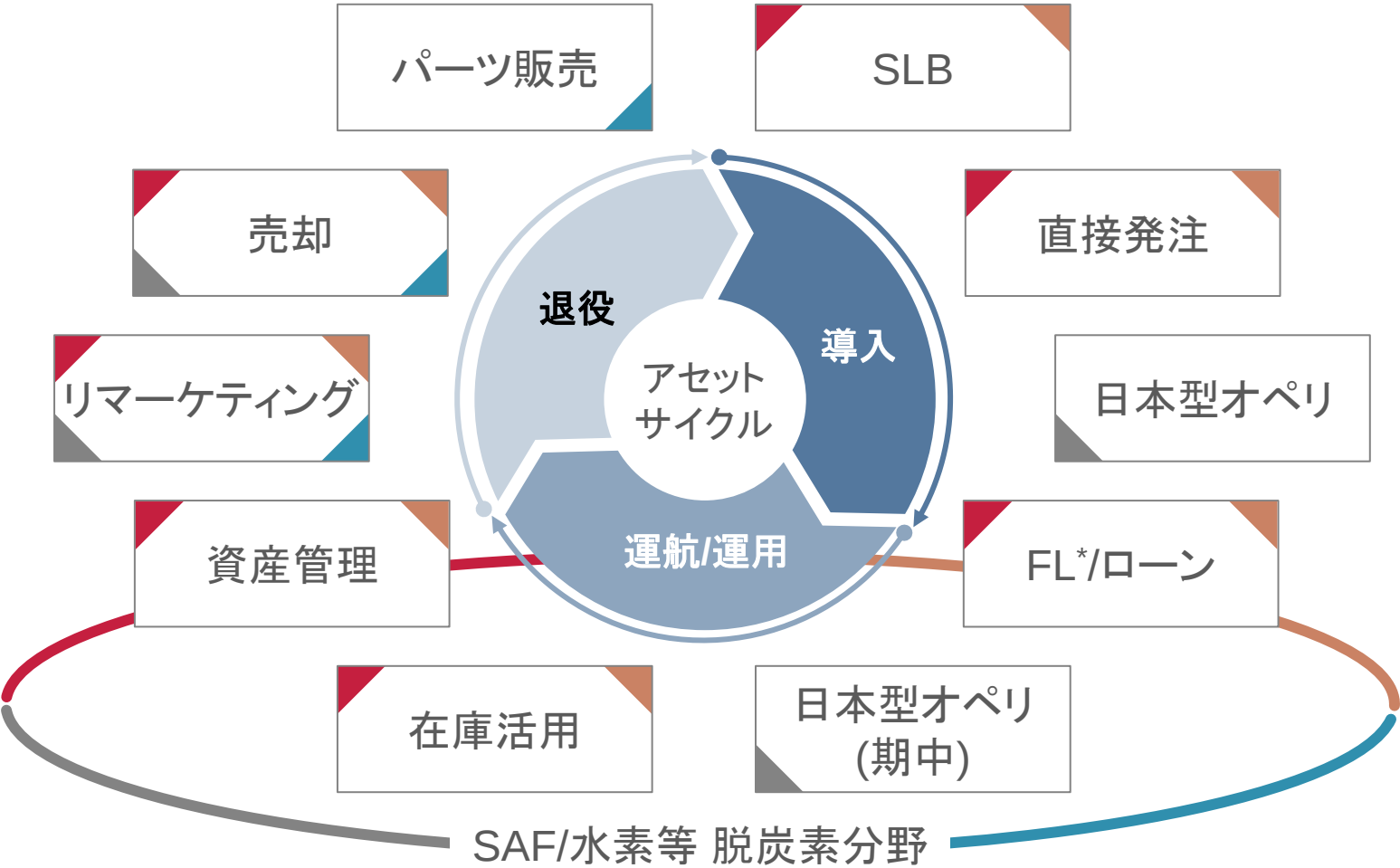
脱炭素化の 推進



- ✓ 機体・エンジンの新型機/基比率の向上
- ✓ 業界の2050年CO₂排出ネットゼロ方針に沿い、SAF/水素等、次世代航空関連分野の研究・新規事業化を推進

- ✓ 業界変化を捉えた中長期的なポートフォリオ変革
- ✓ 力強い継続的成長の実現

アセットライフサイクル全体でフルラインナップのサービスをワンストップで提供



主なサービス提供元

JACKSON SQUARE AVIATION

三菱HCキャピタル

elfc

inav

Point

- ✓ 業界変動・多様化する顧客ニーズに対してグループ内でグローバルにワンストップサービスを提供。
- ✓ フルラインナップ体制でボラティリティを押さえながら安定成長が可能。

* Finance Lease(ファイナンスリース取引)

グループ内の円滑な連携により競争優位性を確保

	航空機リース	エンジン リース	エンジン パーツアウト	日本型オペリ
MHC	JSA 出資比率 100%	elfc 出資比率 100%	inav 出資比率 100%	ABD/MHCAS 出資比率 100%
日系会社A	✓ (合併)	✓ (合併)		✓
日系会社B	✓			✓
日系会社C	✓	マイノリティ 出資	マイノリティ 出資	✓
日系会社D	マイノリティ 出資			✓

Point

- ✓ 全て100%子会社であり、強く円滑な事業連携と一体運営が可能。
- ✓ 4つの事業領域をカバーしており、多様で付加価値あるサービスをグローバルに一体提供可能。

成長戦略を支える仕組み(リスクマネジメント体制)

01



価格/価値変動リスク

需給バランスの変化等による
機体・エンジン価値の低下

対応策

流動性が高い新型ナローボディ
機体/エンジン取組、インフレ資産

02



信用リスク

市況変化等による
リース料回収等の影響

対応策

ポートフォリオ分散、審査力、
リスク分散、アセット回収力

03



在庫リスク

機体・エンジンの
返却、在庫化

対応策

長期リース、アセット回転、
ポートフォリオ分散

04



地政学リスク

世界各地域の混乱による
資産価値・回収等の影響

対応策

地域分散、
アセット管理・回収ノウハウ

05



金利リスク

金利変動による
資金調達コスト等の影響

対応策

金利リスクを軽減する
ALM*運営

* Asset Liability Management(資産、負債の総合的な管理)

運営の柔軟性・機動力も備えた強固なグループガバナンス

